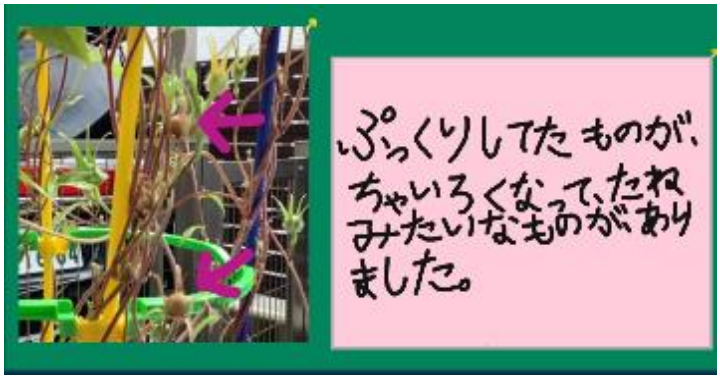
猿渡っ子　タブレット学習の足跡 No4

2/3　　1年生

1年生は、タブレットの使い方を練習し、少しずつ授業で取り入れてきました。
生活科「アサガオのかんさつ」と、図工「てんをかさねて」で、ロイロノートを活用した様子を紹介します。

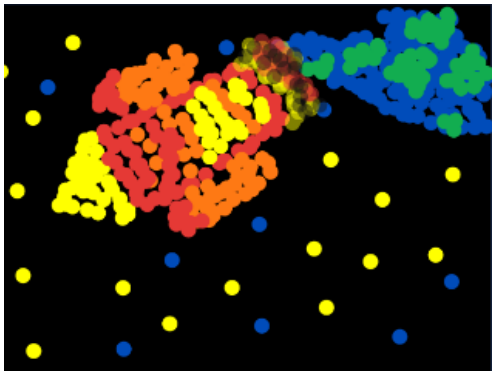
◎生活「アサガオのかんさつ」

5月から大切に育ててきたアサガオ。夏休みは、家に持ち帰って世話と観察を続けました。アサガオを写真で撮り、気付いたことを書いて提出しました。学校が始まってからみんなで見ることで、気付きを共有することができました。



◎図工「てんをかさねて」

この学習は、もともと丸シールをたくさん使って絵を作る学習ですが、今回はロイロノートに点で絵を描く方法で行ってみました。失敗を気にせず何度でもやり直せる、使えるシールの色や数に制限がなく、たくさんの作品を作ることができる、普通のペンだけでなく、蛍光ペンの機能を使うことで、少し透けた色も使うことができ、工夫して作品作りができるなど、タブレットで行うことのよさがいくつもありました。子供たちは、授業が終わった後も作品作りに夢中になり、表現することを楽しむことができました。



この他にも、運動会の時期にはダンスの見本動画を配付したことで、放課や家に帰った後に自分で練習ができたり、生活科のお手伝いの学習では、家でお手伝いの様子を写真や動画に撮ってみんなに見せることで、分かりやすい発表ができたりしました。

【校内情報教育部会より】
アサガオの成長を自分のタブレットに記録しながら詳しく観察したことで、より愛着をもって育てることができたのではないでしょうか。
図工「てんをかさねて」では、どの子も失敗を恐れず、色とりどりのすてきな作品を制作することができました。
今後もどんどんタブレットに触れて、効果的に学んでいってほしいです。